



2018.5.1

No. 197

3月
定例会

市議会だより



企画

鈴木 篤 議長、坂本信康 副議長と
帝京大学大学院教授 萩原三雄氏との座談会

～甲府停車場(甲府駅)の開業と、これからのまちづくり～

平成30年度予算案を可決！

写真：(遊亀公園附属動物園 札幌市円山動物園からやってきたレッサーパンダの「ホクト」)

CONTENTS

- 《企画》鈴木 篤 議長、坂本信康 副議長と
萩原三雄氏との座談会
..... ②～③ページ
- 3月定例会の概要／市長所信表明要旨
..... ④ページ
- 市政に関する質問 ⑤～⑩ページ

- 常任委員会審査の概要..... ⑪ページ
- 予算特別委員会審査の概要... ⑫～⑬ページ
- 審議結果／人事案件／請願・陳情審査結果
..... ⑭～⑮ページ
- 意見書／議会日誌／6月定例会の予定
..... ⑯ページ

鈴木 篤 議長、坂本信康 副議長と 萩原三雄氏との座談会

～甲府停車場（甲府駅）の開業と、
これからのまちづくり～

来年、開府500年を迎えるにあたり、甲府のまちづくりに影響を与えた交通機関である鉄道、その駅である甲府駅が、現在の場所に決定するまで市議会がどのような関わっていたのか、また、その後の甲府のまちづくりについてなど、萩原三雄氏をお迎えし、正副議長と意見交換を行いました。

◆城下町に鉄道を

（全国と甲府の動向）

鈴木議長 甲府駅の位置決定までの経過について、非常に興味があつて調べているんですが、当時は全国的にも鉄道を敷設する議論がされていたようですね。

萩原氏 当時は、全国一斉に東京を中心に鉄道網が競つてつくられてきたんです。

甲府の場合、鉄道というのは、豊臣政権時代に都市をつくつて以来の都市改造になりそうだという認識が根底にありましたから、真剣に議論されていましたね。



鈴木議長

鉄道を引き、駅の位置をどこにするかということは、まちづくりをする上で非常に重要なことですからね。

萩原氏

明治5年の新橋横浜間の開業以後、全国的に鉄道建設が急ピッチで進められたんですが、そ

の中で特に江戸時代から城下町として発展したところに鉄道を通すというのが全国的な課題になって、議会でも様々な角度から議論されてきた経過があります。

全国的に城下町に鉄道を引き入れなかったところも結構あるようですが、山梨の場合は、甲府の城下町に隣接した場所に駅を持つてくることを基本として「甲府は城下町に鉄道を通そう」という発想から始まりました。

大正9年当時の甲府市街全図《抜粋》
（開業は明治36年）



（資料提供：山梨県立博物館）

鈴木議長

鉄道を引くことによって、まちも広がったり、経済も変わったりのことから、いろいろな視点で考えられたと思います。

萩原氏

甲府の都市をどう発展させていくかということを考えたんでしょう。建築史や都市史を研究している方たちは、甲府城の一部

を潰したとしても甲府のまちづくりは成功例の一つだと言っんですよ。この当時の甲府市民は良く考えていたということですね。

◆当時、甲府の市議会として

鈴木議長 明治29年に甲府市議会では、甲府駅の位置について、様々な議論がされていたようです。

当時の議事録を調べてみると、候補地も現在地のほかに、現在地より東側の長禅寺前など、いろいろな案が出されていました。

本市議会は、全市の大局より観察し、最も適正なる意見を表明する必要があることから、最終的に「甲府市の西北にして市の中心に最も接近した場所」と結論が出され、意見書をまとめたようです。



萩原氏

当時の甲府の中心部は柳町付近で、西北部というのはちよ

うご現在の甲府駅にあたるので、この意見書が一定の影響を及ぼしたことは十分考えられます。

鈴木議長 市民生活が激変しない場所という意見が多くあったようですので、上府中と下府中の間の空いている場所につくりたいのかなとは思ったんですが。

萩原氏 そういうことでしょ。ただし、そこに駅ができることによって、甲府城の堀が潰れるということでも議会が紛糾したようですよ。

また、当時の議論では、市の中心部から北西側にも都市を発展させようという意図があったという



左から

萩原三雄 氏

鈴木 篤 議長

坂本信康 副議長

★萩原三雄 氏★

帝京大学大学院教授、帝京大学文化財研究所長

（専門研究分野…中世考古学）

（研究テーマ…日本城郭史、日本鉱山史など）

山梨県立考古博物館館長

萩原氏 今は、お城を中心にまちづくりをするという、歴史を生かしたまちづくりを全国的に展開しているんですよ。

歩いて楽しいまち、歴史と自然ですね。1つは水、もう1つは緑なんです。

例えば京都の人は、まちのつくり方が上手ですね。家の裏側に



ことも言われています。

鈴木議長 全国の都市の発展は西へ伸びる傾向があると聞いたことがあります。当時、北西側への発展を考えていたのであれば、先見の明があったと言えます。

◆これからの甲府のまちづくり

萩原氏 甲府は県庁も市役所も駅に近いし、この辺は甲府城を中心として発展する余地があります。

坂本副議長 全国的にも県都の駅に県庁、市役所がこんなに近い所は、あまりないですね。

ちよつとした空き地があれば坪庭をつくって、通る人を楽しませる。それが当たり前になっているんですね。

坂本副議長 そういう文化を日頃から培っているんですね。

萩原氏 これからの都市は、市民が集うような場所をつくったかどうかと思うんです。甲府の中心市街地は骨格がこれだけきれいでできているので、大改造するのは非常に難しいですが、この骨格を生かしながら、多くの人に受け入れられるような、例えば、空き地になった場所へ、何か歴史が楽しめるような公園等も良いかと思います。

坂本副議長 歴史を振り返りますと、甲府市の発展には、常に市議会が関わっており、この関わりを大切にしながら、本市が掲げる『歴史物語』の実現につながるまちづくりを目指していきます。

鈴木議長 今後、甲府市では、リニア中央新幹線開業も控えていますので、甲府市全体のまちづくりにつながるよう、より活発な議論を交わし、次代へ誇りを持って引き継ぐことのできるまちづくりに、一層貢献していきます。

3月定例会の概要

甲府市議会は、3月定例会を2月27日から3月23日までの25日間の日程で行いました。

平成30年度甲府市一般会計予算、中核市の指定に係る申出についてなど、各常任委員会の審査（概要は11ページ）及び予算特別委員会の審査（概要は12・13ページ）を経て、市長から提案された45案件を審議し、すべて承認・可決・同意いたしました。

主な条例は、甲府市成年後見制度利用促進審議会条例制定についてで、成年後見制度の利用の促進に関する法律の規定に基づき、甲府市成年後見制度利用促進審議会を設置し、その組織及び運営に関し必要な事項を定めたものです。

主な補正予算は、平成29年度甲府市一般会計補正予算（第8号）で、ふるさと甲府応援寄附金の増加に伴う基金積立金の増額などの補正等となっています。

樋口雄一市長 所信表明要旨



平成30年度の市政執行にあたりましては、「第六次甲府市総合計画」における基本構想に基づき、次に述べます方針のとおり、施策の重点的かつ効率的な執行に努めてまいります。

○いきいきと輝く人を育むまちをつくる

各成長段階に応じた子育て関連施策の再構築や子育て支援拠点の整備に加え、子どもたちの明るい未来を展望した地域社会の機運づくりを進めるとともに、経済的な側面からの子育て家庭の支援の継続や、子どもの体力・運動能力の向上と、確かな学力や思い遣る心を育む、教育環境の整備に努めます。

また、留学生への支援や多様な国際交流活動の機会を創出するほか、身近なスポーツの増進や、歴史・伝統の探訪などを通じた学びなどにより郷土愛を育み、誰もが楽しみや生きがいをもって暮らし続けることができるまちづくりを推進します。

○魅力があふれ人が集う活力あるまちをつくる

本市産業の振興策の強化促進に努めるとともに、各種産業分野の担い手や働き手の確保に向けて、就業・

創業機会を提供するなどし、地域産業が持続的に成長・発展することができるよう効果的な施策を総合的に推進します。

また、本市が有する多様な観光資源に着目した観光施策の戦略的な展開に加え、風格ある歴史と都市機能が調和した賑わいのある空間づくりを努めるとともに、東京圏からの優れた土地要件を活かした実践的な移住・定住施策の展開などにより、人が集い活力あるまちづくりを推進します。

○安全で安心して健やかに暮らせるまちをつくる

地域住民の自主・自発的な防災活動の支援や防災意識の醸成、また、非常時の拠点機能の充実・強化など、更なる防災力の向上に資する取組を推進するとともに、犯罪や交通事故による被害を未然に防止するため、防犯活動や交通環境の改善に努めます。

また、市民一人ひとりが、豊かで幸せな人生を送るための源となる「健康づくり」に着目した生活環境の整備に努めるとともに、質の高い地域医療の提供や安定した社会保障制度のもと、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進します。

○自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる

廃棄物の減量化や資源化による循

環型社会の構築や温室効果ガスの排出抑制など、自然環境を保全するための諸施策を展開するとともに、良好な住環境を維持するため、空家等住宅ストックの適切な管理や再生、処分を促すほか、地域の日常景観に配慮した街並みや眺望の保全・形成につながる効果的な施策の推進に努めます。

また、地域特性にあった都市機能や生活利便機能を集積し、持続可能な都市構造の確立に努めるとともに、リニア中央新幹線の開業を視野に入れた公共交通ネットワークの形成、安全性・利便性に配慮した道路整備及び甲府城周辺整備等に努めるなど、自然や歴史と都市機能が調和した快適なまちづくりを推進します。

○基本構想の推進

複雑・多様化する地域課題に主体性を持って取り組む地域コミュニティ活動やボランティア活動を推進し、地域協働社会の再構築に取り組むとともに、魅力的な地域資源を活かした戦略的なシティプロモーションに加え、都市間連携や圏域周辺の自治体との更なる連携・交流を推進します。

また、「中核市」への移行に向けて、本市が目指す都市の姿を見据えた施策等の構築や円滑な事務執行に努めるとともに、分かりやすく利用しやすい行政サービスの提供に向けた行政改革の推進を図り、持続可能な行財政基盤を確立します。



日本共産党
代表質問（分割）

清水 英知

住宅リフォーム助成事業について

質問Q

来年度以降も事業を継続するとともに、開始当初の予算規模、助成件数を回復すべきと考えますが、見解を求めます。

并A 答

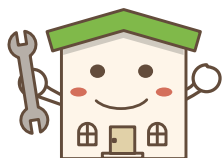
今年度の甲府市行政評価外部評価委員会において、「住宅リフォーム助成は公共性が低い」とのご意見をいただいたことから、事業の検証を行ってきた結果、持続可能な行財政運営を行うため、限られた予算の中で空き家対策を重点に取り組む必要があると判断し、住宅リフォーム助成事業から空き家を対象とした改修助成とすることとしました。

今後、甲府市特定空家等除却費助成制度及び甲府市空き家改修助成制度を活用し、

良好な住環境整備と地域経済への活性化に寄与してまいります。

性化に寄与してまいります。

います。



介護保険料の設定について

質問Q

介護保険料の値上げを中止するとともに、保険料、利用料の軽減措置を拡充すべきと考えますが、見解を求めます。

并A 答

高齢化の進行を背景に、介護費用の増大が見込まれる中で、安定した制度運営を行う必要があるため、平成30年度から3年間の介護保険料を、基準額で7万7780円に設定したところですが、この基準額の上昇の主な要因は、保険給付費に対する65歳以上の方の負担割合が引き上げられたことや特別養護老人ホーム等の整備を予定していることによるものです。

今後、市民の皆様の健康づくりや介護予防の活動を支援するとともに、介護給付と負担のバランスを図りつつ、必要なサービスの提供に努めてまいります。

また、介護保険料の減免や利用者負担の軽減については、引き続き軽減制度の周知に努めるとともに、保険料負担の軽減が図られるよう、国に要望してまいります。

その他の質問項目

- ・地域密着型特別養護老人ホームの整備について 他



政友クラブ
代表質問（分割）

池谷 陸雄

平成30年度の市政運営について

質問Q

市長の任期4年目となる平成30年度に向けた予算配当の力点や重点的取組の考えをお示しく下さい。

并A 答

平成30年度予算については、限られた財源の中で、優先順位を的確に見極めながら、重要施策の推進に必要な経費を配分したところです。

（仮称）子ども支援センターの整備等「子育て・子育て」に係る施策に重点を置くとともに、若者の地元就職・地元定着を促進するための雇用対策等「稼ぐ・稼げる」につながる施策の推進にも力点を置いた予算編成を行ったところであります。

また、「健康づくり」を牽引する取組、「国際交流」の深化を図る取組、「歴史」に触れ、先人達が繰り広げた「物語」を知り、学ぶことができる取組等、将来的に本市の発展の芽となる種を蒔く取組に要する経費に意を用いたものとなっております。

また、「健康づくり」を牽引する取組、「国際交流」の深化を図る取組、「歴史」に触れ、先人達が繰り広げた「物語」を知り、学ぶことができる取組等、将来的に本市の発展の芽となる種を蒔く取組に要する経費に意を用いたものとなっております。



なる種を蒔く取組に要する経費に意を用いたものとなっております。

リニア駅周辺等のまちづくりにおける山梨県との協議・連携について

質問Q

リニア駅を中心とした主要エリアを甲府都市計画区域マスタープランの中に拠点として位置付けられるための、これまでの取組をお伺いします。

并A 答

現在策定中の甲府市都市計画マスタープランにおいてはリニア駅周辺を産業や観光振興等を図る広域交流拠点として位置付けるとともに、甲府南インターチェンジ周辺を工業や商業等に特化した特定機能補強地区と定め、産業の集積を軸とした都市的土地利用が図れることを目指すものとしています。これらの方向性を担保するため、山梨県が策定する甲府都市計画区域マスタープランにも同様な都市機能が位置付けられるよう、昨年12月に申出を行い、今後、この申出に関して協議を継続する中で、まちづくりに取り組んでまいります。

その他の質問項目

- ・中核市移行後のまちづくりについて 他



創政こうふ
代表質問 (分割)
桜井 正富

(仮称)健康都市こうふ基本構想について

質問Q (仮称) 健康都市こうふ基本構想に基づく取組を、どのような観点から進めていくものとしているか、現時点での考えをお聞かせください。

并A 基本構想では、子どもや壮年、シニアの各ライフステージを対象に、健康意識の醸成や予防の強化、体力・運動能力の向上などを旨とする「人の健康づくり」を進めるとともに、家庭や地域等によるふれあいや絆づくりをはじめ、情操の育成や連携・協働による健康づくりを進める「地域社会の健康づくり」、更には「歩く・歩ける」の視点からの都市基盤整備をはじめ、生活空間の形成を進めるなど「まちの健康づくり」の3点を主軸として取組を進めることとしています。

この基本構想の策定により、市民の自発的な健康づくりにつながるだけでなく、甲府のまち全体が健康に、元気になることを目指し

て甲府の元気づくりを進めてまいりたいと考えています。

本市のスポーツ施設の整備について

質問Q 市有のスポーツ施設の役割や必要性、緑が丘スポーツ公園の施設整備についての考えを伺います。

并A 市有のスポーツ施設は、生涯スポーツの振興を支える場や地域の行事等の会場として大きな役割を果たしており、健康づくりの場としても大変重要であると考えていることから、各施設の役割や整備上の課題等を明らかにする中で、市有スポーツ施設の整備基本方針を策定したところです。

なお、緑が丘スポーツ公園の施設整備については、子どもの運動機会の充実やライフスポーツ等もできる施設を念頭にといった整備基本計画を来年度策定することとしており、野球場やテニスコートの具体的な整備内容についても示してまいります。



その他の質問項目

・東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係るレガシーの構築について 他



公明党
代表質問 (分割)
植田 年美

子どもの体力・運動能力の向上について

質問Q 子どもの運動量実証イベントで行ったアンケート結果と、それを踏まえての屋内遊び場についての考え、更に今後の子どもへの体力向上に向けた取組をお示しくください。

并A 運動遊びに関する意識やニーズを把握するアンケートにおいて、実証環境のような「遊び場」に関する問いに対し「とても必要」、「安心して、子どもを遊ばせる場所がない」等、「屋内遊び場」に対するニーズが非常に高かったことを踏まえ、「屋内運動遊び場」の創設について、他都市事例を参考にすると等、調査・研究に取り組んでいるところです。

また、子どもの興味や関心を引き出し、自発的に運動遊びに夢中になる状況を作り出すとされているプレイリーダーが必要と考えており、その技術を習得する機会



を創出するための経費を新年度予算案に計上するとともに、今後においても、子育て環境の充実につながるような事業について総合的に検討してまいります。

日本女性会議の誘致について

質問Q 日本女性会議を甲府市で誘致すべきと考えますが、見解を伺います。

并A 過去5年間の開催都市等への調査を行った結果、開催にあたっては多くの市民団体等の参画や運営スタッフの確保、更には平均3000万円程度の運営経費が必要となる等、様々な検討課題が明らかとなりました。

いずれの開催地でも自治体が開催の申請をしています。多くの関係団体等による実行委員会が主体的に取り組まなければ実現できないことも調査結果から見えてきたため、大会誘致に向けた機運の醸成と実行委員会の結果が誘致の鍵であると考えています。

今後、詳細な検討を行う中で、その可能性について調査・研究してまいります。

その他の質問項目

・DV被害者などに寄り添える相談窓口の充実について 他

保育所等の待機児童について



日本共産党
一般質問（分割）

木内 直子

質問Q 本市の待機児童数の現状をどのように捉えているか、また、待機児童解消への対応策として、保育コンシェルジュの配置、保育所等の定員増、年度初めからの保育士の配置のための補助、処遇改善による保育士の確保を求めますが、見解を伺います。

并A 平成30年4月入所の一次選考においては、第2希望までの保育所等に8割以上の方が入所できており、待機児童の新しい定義を適用しても待機児童はいない状況となっています。

また、保育コンシェルジュと同様の役割を果たす利用者支援員を1名配置し、親切・丁寧な対応に努めるとともに、保育所等の定員増については、各保育所等と連携を図り、ニーズ量に応じた定員を定める中で、可能な場合には行っています。

なお、年度の初



めから配置基準を超えて配置する保育士等を対象とした甲府市加配保育士等配置事業において、昨年度は25施設に補助金を交付し、更に、新たな処遇改善として、職員の技能・経験に応じた役職に対する人件費の加算を実施しています。

健康格差への取組について

質問Q 経済的・時間的余裕のない層への健康格差の解消に取り組むべきと考えますが、見解を求めます。

并A 本市では、生活保護受給者を対象に健康講座を開催し、健康に関する情報提供を行っております。また、国民健康保険加入者のうち低所得の世帯の方は、基本健康診査等が無料で受診できる体制とされています。

（仮称）健康都市こうふ基本構想においては、「人の健康づくり」のみではなく、「地域社会」や「まち」の健康づくりなど、良好な社会環境の構築に向けた取組にも意を注いでまいりたいと考えています。

その他の質問項目

- ・すこやか子育て医療費助成制度の年齢拡大について 他

小学校等の夜間照明のLED化による改修について



政友クラブ
一般質問（分割）

原田 洋二

質問Q 改修によりメンテナンス費用や電気料が削減される等の大きなメリットが考えられますが、夜間照明をLED化していく目的や具体的整備方法についてお答えください。

并A LED投光器への交換をはじめ、照明柱の増設や維持管理も含めた包括的なLED照明の一括リース方式を導入することにより短期間での整備が可能になるとともに、経費の平準化や電気の削減が図られる等、財政的な効果も高く、市民にとって校庭全体の照度が上がることでより良好な環境で利用していただけることとなります。整備は市立小学校等29施設を来年度から2カ年で行っていくこととし、必要経費を新年度予算案に計上したところです。



市立甲府病院における経営改善への取組について

質問Q これまでの取組を含め、今後の市立甲府病院のあり方と経営改善に向けた考えをお聞かせください。

并A 経営改善に向けては「医療収益の増加」「医療費用の抑制」「病院職員の経営に対する意識の向上」の3点が重要な要素だと考えます。「医療収益の増加」については、院長直轄組織として経営改善対策部を設置し効率的な病棟運営等による稼働額の向上に取り組み、「医療費用の抑制」については、医療機器購入に際しルールの一層の厳格化を図り、購入費用の削減に取り組む、「病院職員の経営に対する意識の向上」への取組については、現場における課題や要望を直接聴き、職員とともに経営改善の方策を考えています。少子高齢化等に伴う医療需要の変化に配慮した病院のあり方について検討していく必要があるとともに、本市が掲げる「健康づくり」という目標にも寄与していかなければならないと考えています。

その他の質問項目

- ・中心街の力アップ対策について 他



政友クラブ
一般質問（分割）

小澤 浩

医療的ケア児（重症心身障害児）への動物園開放について

質問Q 開園100周年の記念事業として、市内在住の医療的ケア児（重症心身障害児）と、そのご家族や支援者の皆様を、動物園の閉園後、または休園日に招待してはいかがかと考えますが、見解を伺います。

并A 遊亀公園附属動物園では、甲府市内にお住まいで障害者手帳をお持ちの方が、気軽に来園していただけるよう入園料を免除しています。

ご提案の事業については、動物園に普段これられない障がいがある方、そのご家族が楽しい時間を過ごしていただく取組として一定の評価を受けているとお聞きしておりますので、今後、他の動物園の事例等を調査・研究してまいります。



子ども支援について

質問Q 様々な課題を抱える子どもたちに対する支援として、どのような取組をしてきたのか、また、新年度開設予定の（仮称）子ども支援センターにおいて、どのような考えのもとに支援を行っていくのか、お示しください。

并A 本市では、青少年の健全な育成に取り組みとともに、児童扶養手当の支給、ひとり親家庭等の医療費助成及び母子・父子自立支援プログラムの策定等に取り組んでまいりました。

また、学習支援等、子どもの健全な育ちを等しく保障する「子育て支援」に力を入れる必要があると考えていることから、身近な地域で支える拠点として、（仮称）子ども支援センターを設置し、子どもたちの支援を目的としたボランティアの掘り起こし等を行うとともに、様々な団体間のコミュニケーションを促進するなど、学習支援等の子育て支援を地域ぐるみで支えていくための仕組みづくりに取り組んでまいります。

その他の質問項目

・次世代自動車の普及に向けた取組について 他



政友クラブ
一般質問（分割）

末木 咲子

バーチャルリアリティの活用と今後の可能性について

質問Q 本市のバーチャルリアリティコンテンツは、今後観光振興ばかりでなく、技術を活用した新たな施策展開につながっていくと期待しますが、見解を伺います。

并A 小江戸甲府のVRコンテンツは、甲府市観光協会等への利用を促しながら交流人口を増加させる誘客ツールとして、継続的な活用を図るとともに、子どもたちの歴史を学ぶ教材として、更には高齢者等のウォーキングなど外出機会の増進による健康づくりにつながるための事業展開ツールとして活用してまいりたいと考えています。

なお、VR技術を活用した事業展開については、他都市の活用事例や、技術革新の状況等を注視する中で、調査・研究してま



います。

在宅医療と介護の連携について

質問Q 「顔の見える関係づくり交流会」の開催により、在宅医療と介護の連携はどのように強化され、実践されていくのかお示しください。

并A 本市において、昨年度から「顔の見える関係づくり交流会」を地域包括支援センターのエリアごとに開催し、地域における医療と介護の関係者907人が参加したところです。

この交流会で築いた「顔の見える関係」が「信頼できる関係」に発展することにより、医療と介護の関係者同士の連携が強化され、入院している方が自宅に戻る際には、在宅療養を担う医師や看護師とケアマネージャー等の多職種がその方の状態とケアの方針を病院から引き継ぐことができ、また在宅療養している方が入院となった場合も、医師や看護師に引き継ぐことができ、切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制が強化・実践されると考えています。

その他の質問項目

・味覚教育について 他



創政こうふ
一般質問（分割）

天野 一

学校における働き方改革について

質問

教員の勤務実態の現状把握について、また、教員の長時間勤務の具体的な原因と改善に向けた取組について、ご所見を伺います。

并答

昨年9月に教育委員会職員安全衛生委員会が実施した調査によると、小中学校教職員863名の1か月あたりの時間外勤務は、平均で35・9時間と増加傾向となっており、その要因としては授業や授業準備等に係る時間が増加していることに加え、子どもを取り巻く課題が多様化するに従い、学校の役割が拡大していること等が考えられています。

こうしたことから、教員の多忙化改善対策検討委員会を設置し、山梨県との連携による新たな校務支援システムの構築をはじめ、教育委員会主催の会議や調査の効率化等について



て検討を進めているところであり、新年度予算案に教員を支援する体制の充実に必要となる経費を計上したところです。

中核市移行に伴う身体障害者手帳の交付事務について

質問

中核市移行に向けた準備状況と今後の予定について伺います。

并答

身体障害者手帳の交付に関わる移譲事務を本市で行うためには、障がい の程度が手帳の交付に該当しない案件や判定が困難な案件について諮問する等の附属機関が必要となるため、今後設置予定の社会福祉審議会に、障害者審査部会を設置します。

更に、障がいの程度や内容等を管理するための新たな電算システムを導入する必要があるため、山梨県が保有している情報の確かつ円滑なデータ移行ができるよう、準備を進めてまいります。

今後、手帳の交付事務マニュアルの作成や市民等への周知など、交付事務に遺漏がないよう準備を進めてまいります。

その他の質問項目

- ・学校におけるICT環境の整備について 他



創政こうふ
一般質問（分割）

小沢 宏至

武田氏館跡周辺における用途地域の変更に伴う現状と取組について

質問

用途地域変更前と比べた販売店舗や飲食店舗の出店状況について、また観光客にも出店を促す取組をすべきと考えますが、見解を伺います。

并答

これまでの武田氏館跡周辺動きはありませんが、（仮称）史跡武田氏館跡ガイダンス施設の完成にあわせ、観光客の更なる増加が見込まれ、回遊が活発化することで飲食物販施設の需要が高まり、民間活力による施設建設の動きにつながるものと期待しています。

また、この地域は、地域景観に即した建築物の位置や高さ、色彩等の基準を定める中で規制及び誘導による統一化に努めており、ガイダンス施設の案内板についても景観に配慮する中で整備



を進めているところです。今後も、賑わいや魅力ある空間を誘導することで地域の活性化に資するまちづくりを推進してまいります。

小中学校のプールについて

質問

年間利用日数、維持費用及び老朽化の状況について、また、今後の学校プールのあり方について伺います。

并答

現在、1校あたりの市立小中学校のプールの年間利用日数は小学校で約41日、中学校で約15日、年間水道料金は、小学校で約52万円、中学校で約47万円、年間維持管理費用は、小学校で約23万円、中学校で約20万円となっており、多くのプールは建設後30年以上が経過し、老朽化が進んでいる状況であり、必要に応じ補修を行っているところです。本市では、全小中学校にプールを設置し、柔軟かつ円滑な授業編成等が可能となっていますが、少子化が進展する中で効率的なプールの活用等について、今後、安全面や授業への影響等も十分考慮し、研究してまいります。

その他の質問項目

- ・ごみの減量化とごみ分別アプリについて 他



公明党
一般質問（分割）
中村 明彦

ヘルプマークの導入について

質問 本市では、平成29年7月よりヘルプカードの配布を開始しています。更にヘルプマークを導入し広く周知が必要と考えますが、見解を伺います。

并答 ヘルプマークは、昨年の日本工業規格に追加され公的な意味合いを持ったところであり、このマークを身に付けた人を見かけた際に駅や商業施設等で困っているようであれば、声を掛けるなど思いやりのある行動を促すために、大変有効なものであると考えています。

本市では、来年度からヘルプマーク配布事業を実施することとし、障がい福祉課の窓口や甲府市障害者センターにおいて、希望される方に配布してまいります。

また、ヘルプマークを多くの方に知っていただくよう、広報こうふ等で周知するとともに、関係団体にもご協力をいただきながら、広く周知を行ってまいります。

母子健康手帳交付前の健診費用の助成について

質問 本市では、妊娠中の健康診査費用の一部を14回まで助成していますが、使用しなかった健康診査分を母子健康手帳交付前の健診に使用することで、より充実した制度になると考えますが、見解を伺います。

并答 妊婦健康診査の平成28年度受診回数は、概ね12・3回となつていますが、国が定める望ましい基準は14回程度であることから、まずは基準に沿った受診を促していきたいと考えています。

一方、妊娠・出産に伴う経済的負担の軽減は安心して子どもを産み育てるためにも重要なものと認識しており、今年度からは産後に医療機関で行う産婦健康診査の助成等、経済的負担の新たな軽減に取り組んでいるところです。

こうしたことから、母子健康手帳交付前の健診費用の助成については、様々な取組を実施する中で調査・研究してまいります。

その他の質問項目

・子どものインフルエンザ予防接種費用の助成について 他



働ける場所の確保に向けた取組について



無所属
一般質問（一問一答）
神山 玄太

質問 本市の有効求人倍率は平均的に高いが、職業別に見ると求職数が求人数を上回っている職種もあります。甲府に足りない働きたい職種は何か、また働きたい職種はあるけれど条件に合わない場合、条件を良くするために何ができるのかなど、より有効な政策投資を検討すべきだと考えますが、見解を伺います。

并答 若者が求める仕事と企業側の求人内容の不一致については、企業側と求職者側の双方の意識改革が必要であると考えます。企業側には働き方改革の推進を図る中で求職者が求めている良質な働きやすい環境整備を図るよう働きかけ、求職者側には、「甲府市産業支援サイト」において市内企業の魅力やそこで働くことの魅力を発信し企業の認知度を上げることなどで市内就職を促進し、「甲府市就職応援合同企業説明会」において

て大学等と連携し、多くの若者と市内企業とのマッチングを図ってまいります。

消防団の本部拠点施設について

質問 各地区にある消防団の本部拠点施設は、火災や災害発生時に機能する重要な拠点となつていますが、十分な機能が持っていない、老朽化してきているなどの課題も目に付きます。新設、改修に向けて地区との意見交換の場を設けてはいかかと考えますが、見解を伺います。

并答 本部拠点施設の新築や改修といった重要案件については、必要な機能や規模等を満たす用地の確保など様々な条件等を満たすことが必要となるため、地区からの要望等も伺いながら、関係部局とも連携を図る中で協議・調整が図られるよう必要な対応に努めてまいります。

その他の質問項目

・マーケティングを取り入れた行政経営について 他



常任委員会審査の概要

常任委員長
報告要旨

予算や条例など付託案件を審査した経過等の概要です。

総務委員会

(3月7日審査)

◆議案第15号 中核市の指定に係る申出について

本市が様々な権限を得ることは否定しないが、職員体制及び財政力は類似都市と比較して劣っており、移譲事務の増加による現行業務への支障や既存サービスの後退も考えられることから中核市に移行しないことも含めて、更に検証を深める必要があるため今定例会での議決には反対であるとの意見と、専門職員の採用及び山梨県への派遣研修により職員体制の準備が順調に進んでおり、財政負担への影響も認められないこと、また、移譲事務による行政サービスの拡充及び都市のイメージアップに伴う活性化が図られ、更には、圏域全体の牽引役として近隣自治体との連携による地方拠点形成にもつながることから賛成であるとの意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第19号 平成29年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)及び議案第17号 平成29年度甲府市一般会計補正予算(第8号)中当委員会所管分

2案については、貸付事業は償還率が低く、特別会計の貸付金未償還分を一般会計からの繰出金で補てんすることには反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第36号 指定管理者の指定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第41号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

◆請願第30-1号 甲府市各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願

願意妥当であり採択すべきであるとの意見があり、全員異議なく採択するものと決しました。

なお、請願第30-1号の請願については、当局に対し、平成30年9月定例会でその処理の経過と結果について報告を求めます。

民生文教委員会

(3月7日審査)

◆議案第18号 平成29年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、引き続き収納率向上に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第20号 平成29年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)他2案

3案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

(3月12日審査)

◆議案第45号 平成29年度甲府市一般会計補正予算(第9号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

経済建設委員会

(3月8日審査)

◆議案第42号 債権の放棄について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、債権放棄につながらないよう、更なる取組を求める意見がありました。

◆議案第16号 専決処分について(工事請負契約の変更契約の締結について)

全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しました。

◆議案第44号 訴えの提起について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

(3月12日審査)

◆甲議第2号 所有者不明の土地利用を求める意見書提出について

法改正や法整備は必要と考えるが、憲法の保障する財産権に係る国民的合意が必要であり、更に国等による議論を踏まえた上で判断することが妥当であるため継続審査を求める意見と、所有者不明土地の増加は、災害復興や耕作放棄地、また空き家対策などにおいても深刻な問題であり、公共事業において支障となっていることから、所有者の探索や収用手続の合理化・円滑化を図るとともに、公共的事業の利用を促進するための制度を構築する必要があるので可決すべきであるとの意見があり、採決の結果、多数をもって提案のとおり可決するものと決しました。

環境水道委員会

(3月8日審査)

◆議案第21号 平成29年度甲府市下水道事業会計補正予算(第1号)他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。



別委員会審査の概要

平成30年度予算案を審査

◆予算特別委員会

委員長 大塚義久
副委員長 中村明彦
委員 廣瀬集一 岡 政吉

小澤 浩 末木咲子
鮫田光一 金丸三郎
清水 仁 天野 一
小沢宏至 兵道顕司
植田年美 内藤司朗
木内直子 神山玄太



委員長報告（抜粋）

◆総括質問

◆平成30年度の開府500年に係る予算について

官民一体、市民との協働により、更なる機運の盛り上げや郷土愛を深める取組を加速し、大きな節目に向けて磐石の備えを築く年にしていきたいとの想いをもとに、実行委員会へ支出する補助金1億4千万円余に、歴史物語館ガイダンス施設や甲府城南側エリアの整

備などを含めた、本市が主体となつて行うソフト・ハード事業に係る経費を合わせ、8億9千万円余を計上したところであり、今後もこうふ開府500年記念事業が甲府の未来を担う人づくりや輝きを放ち続けるまちづくりに繋がるよう精魂を傾けて取り組んでいくとの答弁がありました。

◆平成30年度予算について

中核市への移行と開府500年という節目の年に向け、市民の皆様の想いや貴重な御意見をお伺いする中で、これまで重点的に実践してきた「子育て・子育て」「稼ぐ・稼ぐ」に関連する諸施策を継続して実施するとともに、新たに「健康づくり」「国際交流」「歴史物語」をキーワードとする取組にも力を傾注した予算とし、また、本会議や常任委員会等での多くの提言に対しても、その趣旨を十分尊重し、限られた財源を効率的・効果的に配分した予算編成としたところであり、今後も中長期的な視点から本市が進むべき方向を見据えながら、市民の信頼と期待に応えられる市政の推進に向け、引き続き全力を傾注していくとの答弁がありました。

これに対し、重要な事業が計画されている年度であるため、市長の力強い想いに基づいて市政を推進することを求める意見がありました。

◆甲府愛の醸成と新年度予算への反映について

こうふ開府500年記念事業において、私の地域・歴史探訪事業などの実施により、居住する地域の歴史や文化を再認識していただくことのほか、甲府の山々に対する愛着を啓発する甲府名山選定事業、故郷の価値や歴史を学び郷土への興味を広げる史跡武田氏館跡整備事業、学生等へ市内企業で働く魅力を伝えるこうふフューチャーサーチ普及促進事業など、幅広い年代層に対して甲府愛の醸成を図っていきたくと考えており、引き続き市民や地域とのかかわりを大切にする中で、甲府の魅力と共有し、ふるさと甲府への愛着や郷土愛を育み、多くの若者世代を呼び込める「選ばれる都市」となるよう、新たなまちづくりに取り組んでいくとの答弁がありました。

用語解説

「こうふフューチャーサーチ普及促進事業」とは

本市をはじめ、大学、産業団体、金融機関が地方創生の名のもとに連携協力し、企業と若者の多様な交流及び、人材育成の場を整備する中で、企業の人材確保と学生等の地元就職を創出している事業。

◆（仮称）健康都市こうふ基本構想について

健康づくりを進めていくためには、「人」「地域社会」「まち」のそれぞれ

◆条例

の視点からアプローチしていくことがより有効性があると考えており、「人の健康づくり」の視点からは健康増進に繋がる個人の自主自発的な行動など、また、「地域社会の健康づくり」の視点からは個人の取組を地域で後押しする取組など、そして、「まちの健康づくり」の視点からは都市基盤や生活環境の整備といった取組などに焦点をあて、それぞれの取組が相互に関連しながら健康づくりの効果を高めるものとなるよう（仮称）健康都市こうふ基本構想において、その方向性を示し、それに向けた取組を体系化する中で、来年度新設する健康政策課が中心となりつつ、庁内委員会による組織横断的な事業推進を図っていくとの答弁がありました。

◆一般会計

○歳入について

ふるさと甲府応援寄附金についてただしたのに対し、引き続き制度の趣旨を踏まえながら新たな返礼品の掘り起こしやPRの充実を図り、予算額を上回るよう取り組んでいくとの答弁がありました。

平成30年度予算特

○総務費について

国際交流事業への取組についてただしたのに対し、国際教育の充実、世界で活躍できる人材の育成、インバウンド観光の推進、海外活力の取り込み、留学生が活躍できるまちづくり等の視点から関係機関と連携を図り、引き続き事業を推進していくとの答弁がありました。

これに対し、更に国際性豊かな人材の育成に努めるとともに、引き続き国内外に甲府の魅力を発信していくよう求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・遠距離通勤・通学定期券購入補助制度については、利用者のアンケート調査結果を検証して事業に反映していくこと。

○民生費について

ヘルプマークについてただしたのに対し、外見からはわかりにくい援助や配慮を必要としている方へ可能な限り早期に配布するとともに、市民に広く周知するとの答弁がありました。

これに対し、より多くの方がヘルプマークを持った方へ思いやりのある行動ができるよう認知していただく取組を求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・子ども支援推進事業については、(仮称)子ども支援センターの利用促進を図っていくこと。

用語解説

「ヘルプマーク」とは

義足を使用している人、内部障がいの人、妊娠初期の人など外見からはわからなくても、その人が周囲の配慮や援助を必要としていることを知らせるためのマーク。



○商工費について

創作の森おびなについてただしたのに対し、豊かな自然を活用して創作活動や自然体験等の場を提供することで、交流人口の増加を図るとともに地域の振興に寄与するため設置した施設として利用率の向上に努めていくとの答弁がありました。

これに対し、移住・定住に発展していく取組も進めていくよう求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・創業支援資金については、融資制度の更なる周知により利用促進を図ること。

○教育費について

開府500年甲府の歴史を学ぶ事業についてただしたのに対し、市民意識の高揚と機運の醸成を図るため、市民の日常生活等にスポットをあてた記念誌の刊行、史跡武田氏館跡や周辺の文化財等を散策するルートの作成及び説

明板の整備を行うとともに、案内ボランティアを育成していくとの答弁がありました。

これに対し、これからの500年に向けたまちづくりのきっかけとなる事業とするよう求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・教員の多忙化対策として、年度途中においても加配を検討すること。

◆特別会計

○国民健康保険事業特別会計

基礎賦課額の限度額引き上げを含む予算編成であることから反対であるとの意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・医療費軽減策として、ジェネリック医薬品への切替を促進するよう引き続き努めること。

○住宅新築資金等貸付事業特別会計

未償還金についてただしたのに対し、引き続き督促状の発送及び納付相談を行うとともに、適切な債権管理に努めていくとの答弁がありました。

これに対し、貸付制度自体に問題があり、不透明・不透明な特別会計であるので反対であるとの意見がありました。

◆企業会計

○病院事業会計

新たな看護体制の導入についてただしたのに対し、看護師2人が1人の患

者を担当する制度についての試行結果を踏まえるとともに、制度の理解を深める各種研修の実施など、引き続き導入に向けて検討していくとの答弁がありました。

これに対し、ワークライフバランスに配慮した看護体制となるよう求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・新市立甲府病院改革プランの取組を更に推進すること。

○水道事業会計

水道料金の改定についてただしたのに対し、平成30年度から平成32年度までの水道料金については、甲府市水道料金等審議会から改定は不要であるとの答申を受けるとともに、事業内容及び経営状況等を慎重に検討した上で据え置くことを決定したとの答弁がありました。

これに対し、今後も経営努力により現行の料金を維持するよう求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・昭和水源の安定した水質を維持するとともに、リニア中央新幹線開業による使用量の増加を想定した対応策を検討すること。

採決の結果、いずれも当局原案のとおり可決するものと決しました。

平成30年3月定例会審議結果

議案番号	件名等	議決月日	結 果	政 友 ク ラ ブ	創 政 こ う ふ	公明党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	無所属
議案第 1 号	平成30年度甲府市一般会計予算	3月23日	可決	○	○	○	×	○	○
議案第 2 号	平成30年度甲府市国民健康保険事業特別会計予算	//	//	○	○	○	×	×	○
議案第 3 号	平成30年度甲府市交通災害共済事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第 4 号	平成30年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	//	//	○	○	○	×	○	○
議案第 5 号	平成30年度甲府市介護保険事業特別会計予算	//	//	○	○	○	×	×	○
議案第 6 号	平成30年度甲府市古閑・梯町簡易水道事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第 7 号	平成30年度甲府市農業集落排水事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第 8 号	平成30年度甲府市簡易水道等事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第 9 号	平成30年度甲府市後期高齢者医療事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成30年度甲府市浄化槽事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成30年度甲府市地方卸売市場事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成30年度甲府市病院事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成30年度甲府市下水道事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成30年度甲府市水道事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第15号	中核市の指定に係る申出について	3月12日	//	○	○	○	×	※	○
議案第16号	専決処分について(工事請負契約の変更契約の締結について)	//	承認	○	○	○	○	※	○
議案第17号	平成29年度甲府市一般会計補正予算(第8号)	//	可決	○	○	○	×	※	○
議案第18号	平成29年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	//	//	○	○	○	○	※	○
議案第19号	平成29年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	×	※	○
議案第20号	平成29年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//	//	○	○	○	○	※	○
議案第21号	平成29年度甲府市下水道事業会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	※	○
議案第22号	甲府市成年後見制度利用促進審議会条例制定について	3月23日	//	○	○	○	○	○	○
議案第23号	甲府市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第24号	甲府市個人情報保護条例及び甲府市情報公開条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第25号	甲府市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第26号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	○
議案第27号	甲府市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	×	×	○
議案第28号	甲府市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第29号	甲府市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準のうち、申請者の法人格の有無に係る基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第30号	甲府市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第31号	甲府市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第32号	甲府市建築基準法施行条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第33号	甲府市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第34号	甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第35号	甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○

	件名等	議決月日	結 果	政 友 ク ラ ブ	創 政 こ う ふ	公明党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	無 所 属
議案第36号	指定管理者の指定について	3月12日	可決	○	○	○	○	※	○
議案第37号	甲府市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例制定について	3月23日	//	○	○	○	○	○	○
議案第38号	甲府市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第39号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	×	×	○
議案第40号	工事請負契約の締結について	3月12日	//	○	○	○	○	※	○
議案第41号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	//	同意	○	○	○	○	※	○
議案第42号	債権の放棄について	//	可決	○	○	○	○	※	○
議案第43号	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	3月23日	//	○	○	○	○	○	○
議案第44号	訴えの提起について	3月12日	//	○	○	○	○	※	○
議案第45号	平成29年度甲府市一般会計補正予算(第9号)	//	//	○	○	○	○	※	○
甲議第1号	甲府市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	2月27日	//	○	○	○	○	○	○
甲議第2号	所有者不明の土地利用を求める意見書提出について	3月12日	//	○	○	○	△	※	○
甲議第3号	洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書提出について	//	//	○	○	○	○	※	○
甲選第1号	金峰前山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について	//	当選	○	○	○	○	※	○
甲選第2号	北奥仙丈外二山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について	//	//	○	○	○	○	※	○

※社会民主党の山田 厚議員は、一身上の都合により3月12日欠席

○賛成 ×反対 △棄権

政友クラブ ◎荻原隆宏 池谷陸雄 原田洋二 大塚義久
廣瀬集一 鈴木 篤 岡 政吉 坂本信康
長沼達彦 小澤 浩 末木咲子 深沢健吾
藤原伸一郎 鮫田光一
創政こうふ ◎桜井正富 金丸三郎 清水 仁 山中和男
天野 一 小沢宏至 望月大輔 向山憲稔

公 明 党 ◎兵道顕司 中村明彦 植田年美 佐野弘仁
長沢達也
日本共産党 ◎内藤司朗 清水英知 木内直子
社会民主党 山田 厚
無 所 属 神山玄太

◎は会派代表者

□人事案件については、次のとおり同意されました。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任
深澤 勲

◆金峰前山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙当選者

山本今朝文 末木正三 竹川正一

◆北奥仙丈外二山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙当選者

臼井安直 神宮司文雄 神宮司洋紀 神宮司幸弘

(敬称略)

平成30年3月定例会請願・陳情審査結果

	番 号	件 名	付託委員会	結 果
請 願	第30-1号	甲府市各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願	総 務	採 択
	第27-6号	沖縄県民の声に共感し地方自治の堅持を国会と政府に求める意見書提出を求める請願	総 務	継続審査
	第28-1号	安全保障関連法の廃止、または再検討を求める意見書の提出を求める請願	//	//
	第28-6号	「治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求める意見書」の提出を求める請願	//	//
	第29-4号	共謀罪法(テロ等準備罪処罰法)廃止のための意見書提出を求める請願	//	//
	第29-5号	共謀罪(テロ等準備行為処罰)法の廃止を求める意見書提出の請願	//	//
	第29-6号	国民健康保険財政の都道府県化に係る意見書採択についての請願	民生文教	//
	第29-7号	国民健康保険の都道府県単位化に向けての請願	//	//
	第29-8号	国民健康保険の都道府県単位化にかかわる請願	//	//
	第30-2号	政府に核兵器禁止条約に参加し批准する意見書の提出を求める請願	総 務	//
陳 情	第30-1号	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	総 務	継続審査

意見書

議会日誌

6月定例会の予定

意見書

所有者不明の土地利用を求め る意見書（抜粋）

平成28年度の地籍調査において不動産登記簿上で所有者の所在が確認できない土地の割合は、約20%に上ることが明らかにされた。

（中略）現行の対応策には、土地収用法における不明裁決制度の対応があり、所有者の氏名・住所を調べても分からなければ調査内容を記載した書類を添付するだけで収用裁決を申請できるが、探索など手続きに多大な時間と労力が必要となっている。

（中略）所有者不明土地の利用に明示的な反対者がいないにも関わらず、利用するために多大な時間とコストを要している現状に対し、次のとおり、所有者不明土地の発生を予防するとともに、所有者の探索の円滑化と所有者不明土地の利用促進を図るための制度を構築することを強く求める。

- 1 所有者不明土地の発生を予防する仕組みを整備すること。
- 2 土地所有権の放棄の可否や土地の管理責任のあり方等、土地所有のあり方の見直しを行うこと。
- 3 合理的な探索の範囲や有益な所有者情報へのアクセス

など、所有者の探索の合理化を図ること。

4 所有者不明土地の収用手続の合理化や円滑化を図ること。

提出先

内閣総理大臣 総務大臣
法務大臣 農林水産大臣
国土交通大臣

洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書（抜粋）

（前略）国土交通省は、今回、中小河川の豪雨対策を強化するため、全国の中小河川の緊急点検の結果を踏まえた「中小河川緊急治水対策プロジェクト」を取りまとめ、中小河川の河道掘削についても再度の氾濫防止対策の一つとして「中小河川緊急治水対策プロジェクト」に盛り込んだ。

しかし、この「中小河川緊急治水対策プロジェクト」は、概ね3力年の時限的措置であり、河道掘削の対策箇所についても「重要水防区間のうち、近年、洪水により被災した履歴がある区間」と限られている。

よって政府においては、今回の「中小河川緊急治水対策プロジェクト」が、中小河川

を管理する地方自治体にとつて真に活用しやすい施策となるよう、次の事項について取り組むことを強く求める。

1 河道掘削を含む「中小河川緊急治水対策プロジェクト」については、平成29年度補正予算で約1300億円が盛り込まれているが、次年度以降についても、地方自治体の要望を踏まえ、十分な予算を確保すること。

2 「中小河川緊急治水対策プロジェクト」では、河道掘削の対策箇所を「重要水防区間のうち、近年、洪水により被災した履歴があり、再度の氾濫により多数の家屋や重要な施設の浸水被害が想定される区間」と限定しているが、今後は、中小河川を管理する地方自治体がより柔軟な対応ができるよう、対策箇所の拡大も含め検討すること。また、国直轄河川の河道掘削についても、周辺自治体の要望を踏まえ、必要な対策を行うこと。

3 今回の「中小河川緊急治水対策プロジェクト」は、概ね3力年の時限的措置であるが「防災・安全交付金」を活用した中小河川の河道掘削については、恒久的な制度となるよう検討すること。

提出先

内閣総理大臣
国土交通大臣

議会日誌

1月22日(月)	議会制度調査研究会	2月27日(火)	議会運営委員会、3月定例会開会(市長所信表明、提案理由の説明、採決、広報委員会)	3月12日(月)	議会運営委員会、本会議(各常任委員長報告、採決、提案理由の説明、常任委員会付託)、常任委員会(民生文教・経済建設)、本会議(各常任委員長報告、採決)
1月24日(水)	議会運営委員会				
1月30日(火)	リニア中央新幹線調査研究会				
2月6日(火)	山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)	3月2日(金)	本会議(質疑及び市政一般質問)		
2月13日(火)	議員互助会研修会、中核市移行に係る議員説明会、中核市調査研究会	3月5日(月)	議会運営委員会、本会議(各常任委員会付託、予算特別委員会設置)	3月13日(火)～16日(金)	予算特別委員会
2月14日(水)	議会運営委員会	3月6日(火)	常任委員会(総務・民生文教)	3月19日(月)	
2月20日(火)	3月定例会招集告示	3月7日(水)	常任委員会(経済建設・環境水道)	3月20日(火)	
2月22日(木)	議会運営委員会、会派代表者会議	3月8日(木)	会派代表者会議	3月23日(金)	本会議(予算特別委員長報告、討論、採決)、3月定例会閉会
		3月9日(金)		4月10日(火)	広報委員会

6月定例会の予定

6月	
4日(月)	開会、本会議
5日(火)	休会
6日(水)	休会
7日(木)	本会議
8日(金)	本会議
9日(土)	休会
10日(日)	休会
11日(月)	本会議
12日(火)	常任委員会
13日(水)	常任委員会
14日(木)	休会
15日(金)	本会議、閉会



本会議や委員会はどうな
たでも傍聴できます。
なお、本会議の内、開
会日及び市政一般質問を
行う3日間はNNS
(10ch)でテレビ中継する
ほか、インターネットによ
る中継も行います。

